

地域医療を育てる会 情報紙

クローバー

# CLOVER



発行 代表 NPO 法人 地域医療を育てる会 藤本晴枝  
http://iryousodateru.com/  
第59号 平成25年2月5日発行  
東金市東金1142「東金の家」内  
TEL: 090-7634-7175

## もつと知りたいたい大網病院

昭和29年12月1日に、山武郡南病院という名前で開設された大網病院。以来、九十九里地域の住民の健康と命を守り続けて58年になります。二〇一三年からは新たに大網白里市立国保大網病院となります。今日は、志村賢範院長先生に、大網病院のあれこれを伺ってまいりました。

### 大網病院の特徴 その1 がん治療

読者の皆さんは、がん治療を受けるとしたら、どの病院へ行きますか？まず県立がんセンターや、千葉大附属病院など、大きな病院を思い浮かべる方も多いと思います。実は、大網病院ではこれらの病院と役割分担・連携をして、がんの患者さんの治療をしているのだそうです。

「99床という病院の規模にしては、当院は胃がん、大腸がん、乳腺がんなどの手術件数の多い病院です。大きな病院で手術をした後の通院が大変という患者さんの治療も、大網病院で引き受けています」と志村先生。最近のがん治療は技術の進歩も目覚ましく、抗がん剤の治療を外来で受ける患者さんも増えていきます。遠くの病院に通うことは大変ですが、住み慣れた街で治療を受けることがで

きるとは、うれしいですね。でも、心配なのが夜間などに突然具合が悪くなった時。大網病院で、いつでも診てもらえるのでしょうか？

「当院に定期受診をされているがん患者さんの救急に関しては、24時間三六五日、当院で受け入れる態勢をとっています」と志村先生。その患者さんのカルテにはあらかじめ印がしてあって、他の一般の患者さんとは違う対応をしてくれるのだそうです。がん患者さんにとって、心強い態勢ですね。また在宅医療については、町内の在宅支援診療所と連携を取っているとのこと。

「がんの疑いのある方は、まずは大網病院に来ていただいて、診察のうえ、必要ならばより専門の病院をご紹介しますし、当院で治療できる方は当院に通っていただく。そういう形で大網病院を利用していただくと、患者さんの負担も軽くなるのでは

ないでしょうか」と志村先生はおっしゃっていました。

### 大網病院の特徴 その2 血液疾患

大網病院は、日本血液内科学会の研修施設になっています。病名でいうと、急性白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫などの検査や治療を行っています。大網病院では、他にも表1にあるような様々な学会の研修施設になっています。

(表1)

#### 大網病院が取得している認定施設

- ▶ 日本医療機能評価機構認定施設 (~2015. 11. 20)
- ▶ 日本内科学会認定関連施設
- ▶ 日本消化器病学会認定施設
- ▶ 日本血液内科学会認定施設
- ▶ 日本外科学会専門医制度修練施設
- ▶ 日本消化器外科学会専門医関連施設

### 夜の救急はどうなっているの？

山武地域では、病院が交代で救急患者の治療にあたる「輪番体制」を取っています。毎日、外科系・内科系それぞれの患者をどこの医療機関が受け入れるかが決まっています。

「大網病院も輪番に参加しています。そのため、輪番以外の日は、入院患者さんの管理を中心に行う管理当直をします。したがって、輪番以外の日ですと、たとえかかりつけの患者さんでも、その日の輪番の病院を受診していただくことになる場合があります」と志村先生。「かかりつけなのに救急で診てもらえなかった」というのは、このケースなのです。

仮に、いつも心臓の病気で大網病院を受診していた患者さんがいたとします。日中は病院に専門の医師がいるので



問題はありませんが、夜、この患者さんが急に具合が悪くなった時、専門の医師がいなければ、診療ができません。「重症の患者さんの場合は、専門の医師を呼び出して、医師が自宅から病院に来るのを待っている間に手遅れになってしまいうことがあります。このような場合は、専門の医師が待機しているほかの病院に一刻も早く搬送する必要がありますのです」(志村先生)

私たちは「かかりつけ」イコール「いつでもそこにお医者さんがいる」となんとなく思っています。専門の医師がいる日中と、そうでない夜間では、できることが違ってくるのです。

この問題は、二〇一四年四月に東千葉メディカルセンターが開設すると解決するのでしょうか？

「この地域の人口と、メディカルセンターの規模から考えて、すべての救急患者が三六五日24時間、メディカルセンターに集中することは難しいと思います。2次救急に関しては、メディカルセンターを含めた地域の医療機関が、協力して対応することになるでしょう。ただ、今は山武地域で対応できない脳卒中や急性心疾患の患者さん、小児の救急患者さんを

いったんはメディカルセンターで診てもらえるようになりますから、住民の皆さんの安心感が高まると思います」(志村先生)

### もっともっと 知りたい！大網病院

私たちの地域では、様々な医療機関がそれぞれの持ち味を活かしながら、連携して患者の治療にあたっていただいているのです。

**病院の連携** (表2)

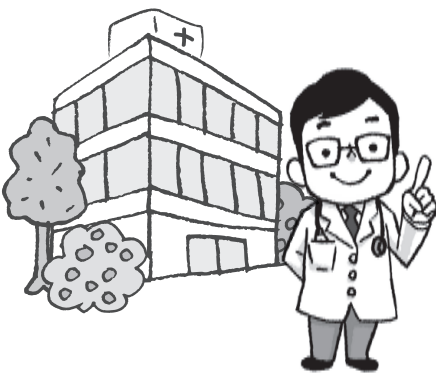
- 内科・外科・整形外科の一般診療・処置・手術
  - ・・・大網病院
- 循環器・呼吸器・脳・神経疾患・婦人疾患・小児科
  - ・・・必要に応じてほかの医療圏の専門診療科に依頼
- 山武・長生・夷隅医療圏内での連携
  - 糖尿病・腎疾患・・・東金病院
  - 整形外科(開放骨折、脊椎・関節疾患等)
    - ・・・さんむ医療センター、長生病院
  - 消化器内科疾患・血液疾患
    - ・・・他院から 大網病院を紹介
  - 精神神経疾患・・・浅井病院
  - 眼科疾患・・・さんむ医療センター、その他クリニック

大網病院では、病院と患者の信頼関係を築きたいと、病院職員と住民との交流会を開催しました。今後も、年2〜3回のペースで実施する予定です。

二〇一三年1月1日からは、

大網白里市立の病院として、ホームページも見やすい形にリニューアルしました。病院の治療実績などの詳しいデータや、志村院長先生のブログもアップされるそうです。パソコンをお持ちの方は、是非アクセスしてみてくださいね。

(藤本晴枝)



●大網病院のホームページ  
URL: <http://www.city-oamihp.jp>

●大網病院と住民との交流会 <問い合わせ先>  
大網白里まちづくりサポートセンター  
☎ 0475-72-8278  
Eメール: [info@machisapo.net](mailto:info@machisapo.net)

**「コラム」**  
「志村先生から地域の皆さんに考えていただきたいこと」

#### その1

救急に来る独り暮らしの高齢の患者さんは、「なんとなく具合が悪いので不安だから救急に」という軽症の人と、「重症で、近所の人が気付いて救急に運ばれた」という人の両極になっていきます。いずれも、近所での見守りや声掛けなどが必要と感じられるケースです。

#### その2

病院の職員が子育てをしながら働くことができるように、託児所・保育所が必要で。これらは、女性医師・看護師が職場を選ぶときの決め手になることもあります。



志村先生プロフィール  
平成15年大網病院院長に就任。  
趣味はゴルフ  
(学生時代はテニス部所属)

クローバーは、以下の各機関に置かせていただいております。

- 東金市 ふれあいセンター・市役所・図書館・東金病院・鶴ヶ嶺の家・岸本医院・天野内科クリニック
- 山武郡市夜間急病診療所
- 城西国際大学

大網白里市 榎大里総合管理・大網病院

- 山武市 さんむ医療センター
- 成東保健センター
- のぎくプラザ
- 松尾1Tセンター
- 伊藤クリニック

山武郡市内の、薬剤師会に所属している薬局

置かせていただける場所があります。したら、ぜひ一報ください。

(☎090(7634)7175 藤本)

**くらしの講演会 (医療・保健・福祉の連携を考える)**

日時: 平成25年3月10日(日)午後1時から午後4時  
場所: 東金ふれあいセンター 多目的室  
基調講演: 「がんになる前に知っておきたい 地域の医療のこと」  
講師: 篠原靖志先生(さんむ医療センター副院長)  
パネル ディスカッション: 「がんや糖尿病などの病気を抱えて、住み慣れた地域で過ごせるように」  
パネリスト: 篠原靖志氏(さんむ医療センター) / 吉井稔氏(さんぶエリアネット) / 富田勲氏(片貝薬局)  
コーディネーター 藤本晴枝氏(NPO法人地域医療を育てる会)  
主催: 東金市社会福祉協議会、NPO法人地域医療を育てる会

問い合わせ先: 52-5198  
(東金市社会福祉協議会 担当: 北田)